

# 伊師浜海岸とウミウ捕獲場



(表紙写真：富山かなえ)

美しい白浜と青松が広がる伊師浜海岸は、日立市最北端の海水浴場です。環境省「快水浴場百選」のほか、林野庁「白砂青松百選」などに選定されています。

周辺を含めた約3kmの海岸には、約30mの高い崖が連なり、毎年4～6月と10～12月になると、渡り鳥の海鵜(ウミウ)が岸壁でゆっくり羽を休める姿を見ることができます。この珍しい景色は、茨城県から「ウミウ飛来地」として、天然記念物に指定されています。

伊師浜海岸には、日本で唯一の「ウミウ捕獲場」が整備されています。「鳥屋」と呼ばれる小屋ではベテランの捕獲者が待機し、鳥屋の前に舞い降りてきたウミウを捕獲、その後、伝統ある鵜飼の主役として全国の鵜飼地に送られていきます。

鵜飼は、約1300年の歴史を誇る漁法です。現在、岐阜県長良川や愛知県木曾川、京都府宇治川など全国12ヶ所(1ヶ所休業中：和歌山県有田川)で行われ、そのうち、11ヶ所の鵜飼地に日立からウミウを提供しています。鵜飼文化を支える「鵜捕りの技術」は、1992年(平成4年)に日立市の無形民俗文化財に指定されました。

ウミウは、「鵜の目鷹の目」ということわざが示す通り、高い視力に加え、優れた泳ぎ、獲物を丸呑みにする習性などが、鵜飼に適しているといわれています。

毎年、ウミウ捕獲場は、捕獲に支障が出ない1～3月、7～9月のみ一般公開されています。

ご家族・ご友人とともに、日本の伝統文化・鵜飼を支えるウミウ捕獲場へ足を運んでみてはいかがでしょうか。



◆場 所：茨城県日立市十王町伊師640  
(国民宿舎「鵜の岬」脇)

◆アクセス：

【車】常磐自動車道「日立北IC」より、約5分

【電車】JR常磐線「十王駅」より、タクシーで約10分

◆ウミウ捕獲場

1～3月、7～9月のみ一般公開(9:30～14:00)

※荒天時は、公開中止

公開期間中は予約不要で見学が可能

問い合わせ：日立市観光物産課(0294-22-3111)

筑波総研株式会社 研究員 富山かなえ